

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和3年6月】

■調査概要（データ対象期間：令和3年6月1日～6月30日）

○調査期間：令和3年6月28日～令和3年7月16日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業22企業、製造業20企業、卸売業13企業、小売業24企業

飲食業20企業、サービス業42企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計141企業>

○調査項目：6月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※ $DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI、水準DIともにマイナス幅の縮小

1. 業況判断

○全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲10.1）よりマイナス幅が2.3ポイント縮小し、▲7.8となった。業種別では、製造業はプラス幅が拡大し、卸売業は0からプラスとなり、サービス業はプラスから0となった。建設業、飲食業はマイナス幅が縮小し、小売業はマイナス幅が拡大した。

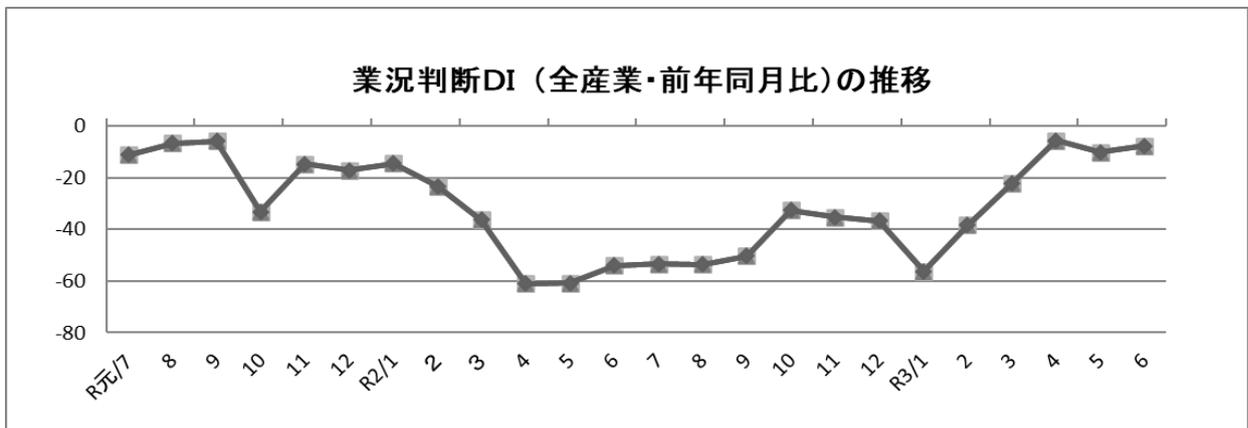
○全産業合計の水準DIは、前月（▲39.5）よりマイナス幅が1.9ポイント縮小し、▲37.6となった。業種別では、卸売業はマイナスから0に転じた。飲食業、建設業、製造業、サービス業はマイナス幅が縮小し、小売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	22.0 (25.2)	48.2 (39.5)	29.8 (35.3)	▲ 7.8 (▲ 10.1)	7.8 (9.4)	46.8 (41.7)	45.4 (48.9)	▲ 37.6 (▲ 39.5)
建設業	4.5 (0.0)	72.8 (52.4)	22.7 (47.6)	▲ 18.2 (▲ 47.6)	0.0 (0.0)	77.3 (66.7)	22.7 (33.3)	▲ 22.7 (▲ 33.3)
製造業	40.0 (41.7)	35.0 (29.1)	25.0 (29.2)	15.0 (12.5)	25.0 (20.8)	30.0 (29.2)	45.0 (50.0)	▲ 20.0 (▲ 29.2)
卸売業	30.8 (30.0)	46.1 (40.0)	23.1 (30.0)	7.7 (0.0)	23.1 (10.0)	53.8 (60.0)	23.1 (30.0)	0.0 (▲ 20.0)
小売業	12.5 (29.2)	37.5 (29.1)	50.0 (41.7)	▲ 37.5 (▲ 12.5)	8.3 (16.7)	29.2 (33.3)	62.5 (50.0)	▲ 54.2 (▲ 33.3)
飲食業	25.0 (25.0)	40.0 (18.7)	35.0 (56.3)	▲ 10.0 (▲ 31.3)	0.0 (6.3)	30.0 (6.2)	70.0 (87.5)	▲ 70.0 (▲ 81.2)
サービス業	23.8 (25.0)	52.4 (52.3)	23.8 (22.7)	0.0 (2.3)	2.4 (4.5)	54.7 (50.0)	42.9 (45.5)	▲ 40.5 (▲ 41.0)

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
 「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

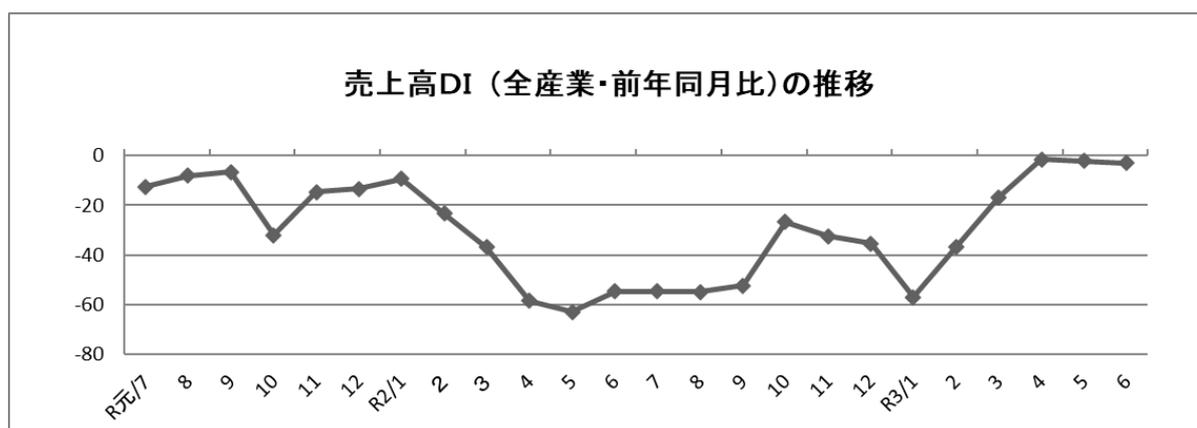


2. 売上高D I（前年同月比）

○全産業合計の売上高D Iは、前月（▲2.2）よりマイナス幅が0.7ポイント拡大して、▲2.9となった。業種別に見ると、製造業はプラス幅が拡大し、卸売業はプラス幅が縮小し、サービス業はプラスから0となった。飲食業、建設業ではマイナス幅が縮小し、小売業ではマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R2年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全 体	▲ 54.8	▲ 54.8	▲ 54.9	▲ 52.4	▲ 26.8	▲ 32.4	▲ 35.4	▲ 57.0	▲ 37.0	▲ 16.8	▲ 1.4	▲ 2.2	▲ 2.9
建設業	▲ 29.2	▲ 31.8	▲ 35.0	▲ 39.1	▲ 15.8	▲ 22.8	▲ 13.6	▲ 47.4	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 33.4	▲ 18.2
製造業	▲ 70.6	▲ 76.2	▲ 68.2	▲ 64.0	▲ 47.6	▲ 38.1	▲ 43.5	▲ 68.4	▲ 36.3	▲ 27.3	▲ 8.7	16.7	25.0
卸売業	▲ 53.8	▲ 41.7	▲ 60.0	▲ 61.5	▲ 25.0	▲ 61.5	▲ 38.5	▲ 58.3	▲ 41.7	23.1	33.4	10.0	7.7
小売業	▲ 32.0	▲ 66.7	▲ 43.5	▲ 36.4	▲ 13.1	▲ 17.4	▲ 7.4	▲ 38.5	▲ 8.4	▲ 11.1	3.6	▲ 8.3	▲ 16.7
飲食業	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 88.2	▲ 58.8	▲ 68.7	▲ 87.5	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 57.9	▲ 18.7	▲ 31.3	▲ 10.0
サービス業	▲ 65.9	▲ 44.2	▲ 46.7	▲ 44.1	▲ 17.4	▲ 20.5	▲ 39.6	▲ 51.3	▲ 43.2	▲ 2.4	9.7	13.6	0.0

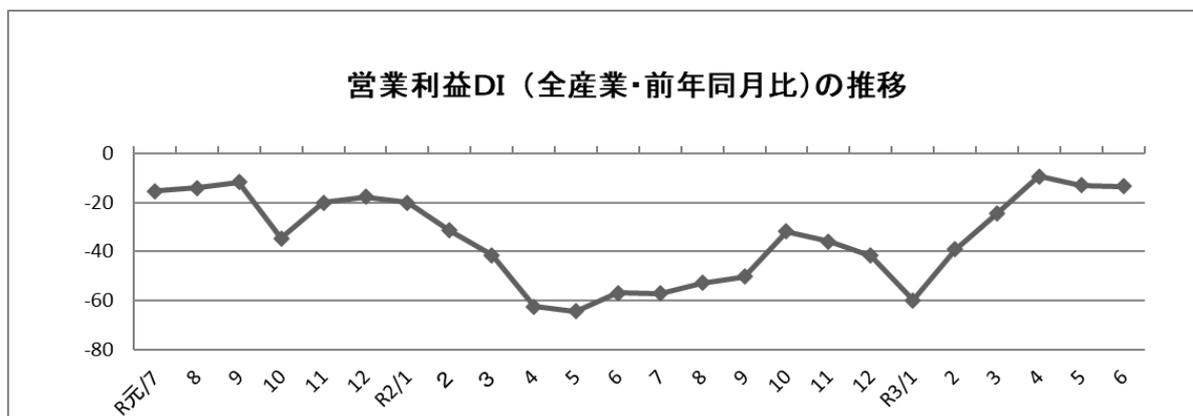


3. 営業利益D I（前年同月比）

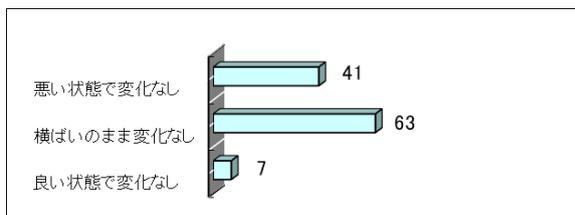
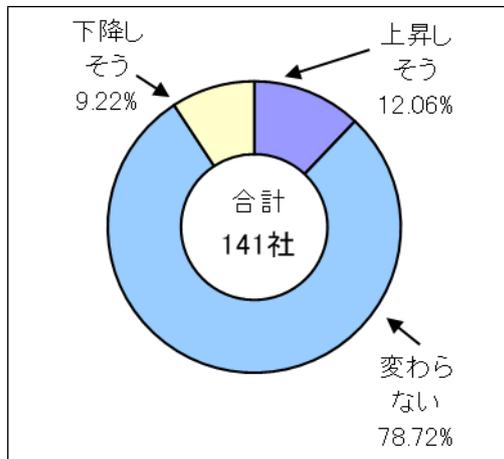
○全産業合計の営業利益D Iは、前月（▲13.0）よりマイナス幅が0.5ポイント拡大して、▲13.5となった。業種別に見ると、製造業はプラスからマイナスに転じ、卸売業は0からマイナスになった。飲食業、建設業ではマイナス幅が縮小し、サービス業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R2年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全 体	▲ 57.0	▲ 57.1	▲ 52.8	▲ 50.3	▲ 31.9	▲ 36.0	▲ 41.7	▲ 60.0	▲ 39.2	▲ 24.5	▲ 9.3	▲ 13.0	▲ 13.5
建設業	▲ 37.5	▲ 36.4	▲ 40.0	▲ 30.4	▲ 31.6	▲ 36.4	▲ 31.8	▲ 47.4	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 18.2
製造業	▲ 82.3	▲ 90.5	▲ 59.1	▲ 60.0	▲ 52.4	▲ 57.1	▲ 56.5	▲ 73.6	▲ 31.8	▲ 31.9	▲ 17.4	4.2	▲ 5.0
卸売業	▲ 53.8	▲ 50.0	▲ 46.7	▲ 46.1	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 23.1	▲ 58.3	▲ 33.4	7.7	16.7	0.0	▲ 7.7
小売業	▲ 32.0	▲ 62.5	▲ 43.5	▲ 36.3	▲ 8.7	▲ 17.4	▲ 18.5	▲ 46.2	▲ 25.0	▲ 22.2	0.0	▲ 12.5	▲ 25.0
飲食業	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 94.1	▲ 70.6	▲ 81.3	▲ 87.5	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 52.6	▲ 25.0	▲ 43.7	▲ 15.0
サービス業	▲ 63.5	▲ 41.9	▲ 46.7	▲ 46.5	▲ 21.8	▲ 15.9	▲ 41.8	▲ 53.7	▲ 40.9	▲ 14.3	2.4	▲ 4.5	▲ 9.5



◇ 向こう3カ月の見通し ◇

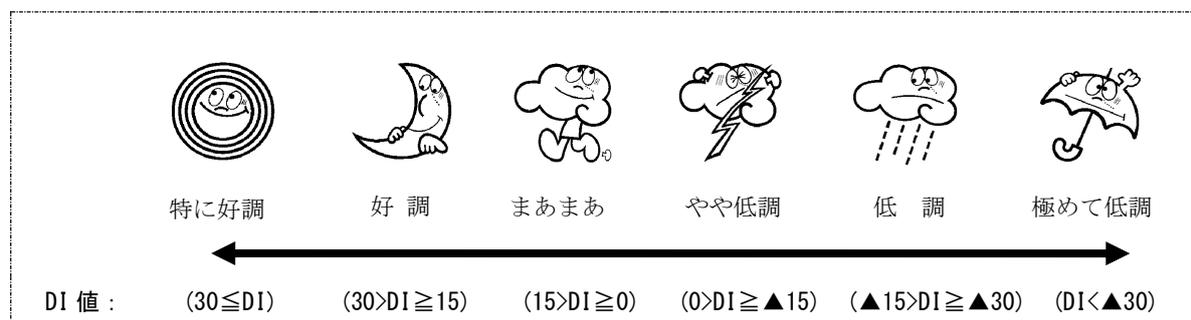


○令和3年7月～令和3年9月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ5.58ポイント増加し12.06%、「下降しそう」が0.13ポイント減少し9.22%となった。業種別の見通しDIは建設業(4.5)、製造業(▲5.0)、卸売業(▲7.7)、小売業(▲8.3)、飲食業(5.0)、サービス業(14.2)であった。

- ➡「上昇しそう」では「今年度の公共事業が発注されるため」(製造業)「前年が最悪期のため」(製造業)「季節的な要因があるため」(製造業)「観光シーズンに入るため」(卸売業)「夏休み期間なので、観光客や旅行客が多く来ると期待しているため」(小売業)「新規プロジェクトの開始、回収予想があるため」(官庁の仕事が出てきているため)「これから繁忙期を迎えるため」(商談の機会が増加したため) (サービス業)といった声が寄せられた。また、「ワクチン接種が始まったため」といった声が多数寄せられた。
- ➡「変わらない」では「直近で改善しそうな要素がないため」(建設業)「DXによる紙や印刷物の削減と相変わらずのデフレ競争が続いているため」(受注が多くあり順調な売上が見込めるため) (製造業)「景気浮揚の材料が見つからないため」(小売業)「職業訓練受講者数が増加しているため」(サービス業)といった声が寄せられた。
- ➡「下降しそう」では「ウッドショックの影響が出始めているため」(建設業)「新型コロナウイルス感染症の流行に関わらず、夏季は閑散期であるため」(部品の不足が悪化しそうなため)「6月が良く、比較すると悪くなると予想しているため」(製造業)「個人の野菜の収穫があるので店売が減ると考えているため」(6月は特別良かったため) (卸売業)「首都圏の人の動きが活発になり、新型コロナウイルス感染症の自粛が終わる感じがしているため」(飲食業)といった声が寄せられた。また、「コロナ禍による影響を受けているため」といった声が多数寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R2年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 29.2	▲ 31.8	▲ 35.0	▲ 39.1	▲ 15.8	▲ 22.8	▲ 13.6	▲ 47.4	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 33.4	▲ 18.2
受注量	▲ 29.2	▲ 27.3	▲ 25.0	▲ 34.8	▲ 21.0	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 31.5	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 45.0	▲ 28.5	▲ 18.2
受注単価	▲ 20.8	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 21.7	▲ 10.5	▲ 13.7	▲ 4.5	▲ 15.8	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 19.0	▲ 9.1
営業利益	▲ 37.5	▲ 36.4	▲ 40.0	▲ 30.4	▲ 31.6	▲ 36.4	▲ 31.8	▲ 47.4	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 18.2
見通し	▲ 4.2	▲ 4.6	0.0	▲ 8.7	▲ 10.6	▲ 13.7	▲ 4.6	10.5	0.0	▲ 20.0	▲ 5.0	14.2	4.5

<経営者の目・見方・etc>

鉄工

- ・我々の業界で新型コロナウイルス感染症の影響があった、なかったという判断は難しいが今後は悪い影響が出そうである。
- ・鋼材費、副資材費が高騰し、品薄感も増してきた。今後の動向をより注意せざるを得ない。

土木工事

- ・建設業界全般で商品や工事材料全般について物の動きがかなり悪くなっている。
- ・県の維持工事の予算が、新型コロナウイルス感染症の影響を受け大幅に減少していると聞いた。

建築工事

- ・ウッドショックで木材が手に入りにくい。

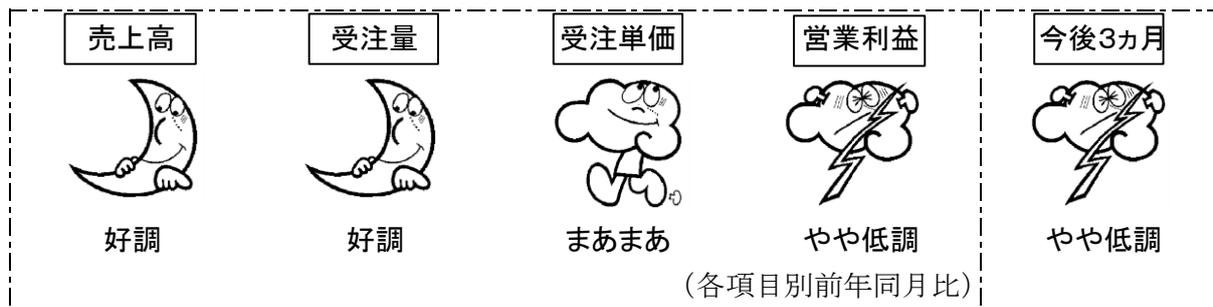
電気工事

- ・ちらほらと官庁の発注件名も出ているが今はどこの会社も受注に必死なのではないかと思っている。

総合建設

- ・今年度建設業において4日以上休業の労災事故が急増している。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	R2年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 70.6	▲ 76.2	▲ 68.2	▲ 64.0	▲ 47.6	▲ 38.1	▲ 43.5	▲ 68.4	▲ 36.3	▲ 27.3	▲ 8.7	16.7	25.0
受注量	▲ 70.6	▲ 81.0	▲ 59.1	▲ 52.0	▲ 42.8	▲ 33.4	▲ 56.6	▲ 57.9	▲ 31.8	▲ 13.7	▲ 8.7	8.3	25.0
受注単価	▲ 35.3	▲ 42.9	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 19.0	▲ 19.0	▲ 17.4	▲ 21.1	▲ 18.2	▲ 18.2	0.0	0.0	5.0
営業利益	▲ 82.3	▲ 90.5	▲ 59.1	▲ 60.0	▲ 52.4	▲ 57.1	▲ 56.5	▲ 73.6	▲ 31.8	▲ 31.9	▲ 17.4	4.2	▲ 5.0
見通し	▲ 35.3	▲ 23.8	▲ 22.7	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 14.2	▲ 17.4	15.8	18.2	4.5	0.0	0.0	▲ 5.0

<経営者の目・見方・etc>

機械

- ・原材料の高騰、特に一部鋼材は品薄の兆候により値上げスピードが加速している。

精密機械

- ・半導体だけではなくコネクタなどの電子部品が全体的に不足しており、需要はあるが生産ができない状況が続くそうで楽観視できない。

精密機械組立

- ・電子部品の供給不足の影響が出ている。今後の動きも不透明である。

ケーブル加工

- ・部品やケーブルの不足は一層深刻な問題になってきている。

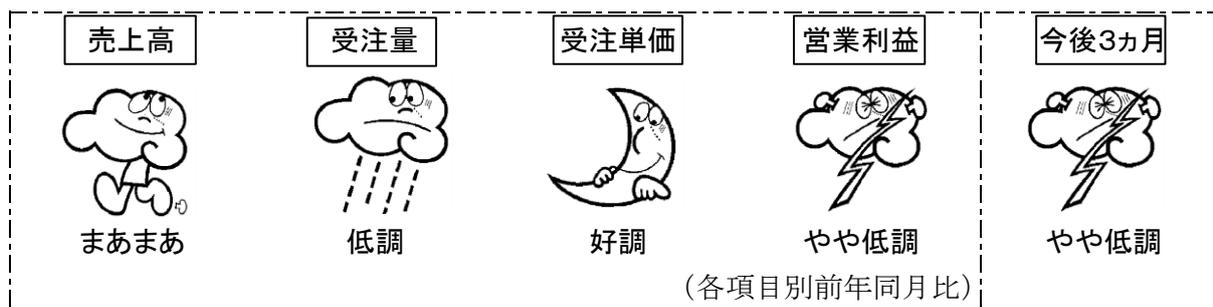
金属塗装

- ・車関係、半導体製造装置、工作機械等多少動き出したように感じる。

印刷

- ・市の予算組みについてはまだ秋以降になるが、すでにDXによる紙や印刷物の削減を推し進める動きがあり、準備のできていない企業は相当厳しい状況に追い込まれることが予想される。高校の文化祭パンフレットでAR広告を企画したところ、3年前の約3倍である50団体超の申し込みがあり、嬉しい悲鳴となった。もはや高校生はスマホネイティブ、デジタルネイティブになっており、自分たちで動画を作成することをいとも簡単に行い、楽しめるようになってきている。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	R2年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 53.8	▲ 41.7	▲ 60.0	▲ 61.5	▲ 25.0	▲ 61.5	▲ 38.5	▲ 58.3	▲ 41.7	23.1	33.4	10.0	7.7
販売客数	▲ 30.8	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 16.7	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 33.3	▲ 33.3	7.7	0.0	0.0	▲ 15.4
販売客単価	▲ 15.4	▲ 33.4	13.3	▲ 30.8	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 7.7	▲ 33.3	▲ 41.7	15.4	8.4	30.0	15.4
営業利益	▲ 53.8	▲ 50.0	▲ 46.7	▲ 46.1	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 23.1	▲ 58.3	▲ 33.4	7.7	16.7	0.0	▲ 7.7
見通し	▲ 7.7	▲ 8.3	0.0	7.7	▲ 8.3	▲ 15.4	▲ 23.1	8.4	25.0	7.7	▲ 16.7	▲ 10.0	▲ 7.7

<経営者の目・見方・etc>

青果

青果卸小売業

魚介類

業務用食品

土産品

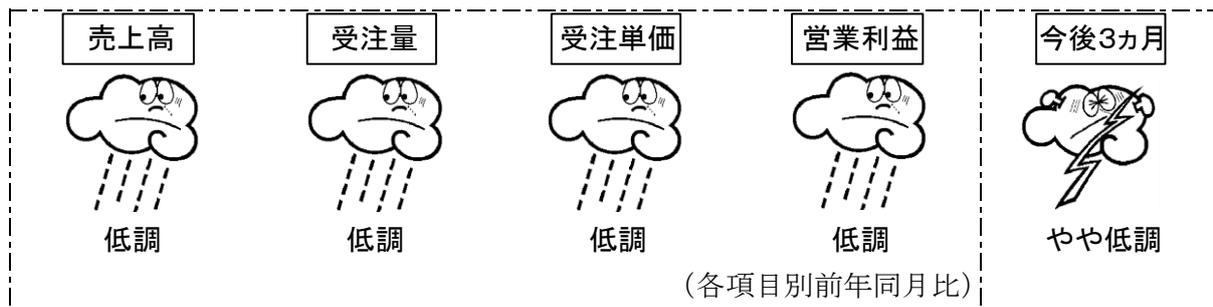
機械工具

金属製品

自転車

- ・6月は長野県内産の青果物が多いので、地物に特化した販売対策を行う。
- ・季節物の梅など漬物を消費者の方々で作らなくなり、販売が減少しているように思える。高齢化が進んでいるのが原因だと考えている。
- ・ワクチン接種を終えた高齢者層で外食の動きが出ている。飲食や宿泊業は相変わらず悪い状況である。
- ・コロナ禍の今後の動きがどうなるか予測できない。
- ・相変わらず厳しい状況が続いている。観光客が少ない、土産品も売れない。そのような状況でワクチン接種も少しずつではあるが進み宿泊の予約も増加傾向にあり、夏休みの消費に期待したい。
- ・忙しくなってきてはいるがまだ不安定である。
- ・各メーカーは原料高、運搬コスト等もあり、依然強気の姿勢は変わらず、価格転嫁がどこまで浸透できるかが喫緊の課題となっている。建築関係は徐々に物件の話が出てきている一方、カラムやボルトの納期対応に苦慮している状況である。
- ・7月に新製品発売があり、予約キャンペーンを実施。去年は給付金で売上増があったが今年はない。今後半導体が品薄予想で影響が心配である。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	R2年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 32.0	▲ 66.7	▲ 43.5	▲ 36.4	▲ 13.1	▲ 17.4	▲ 7.4	▲ 38.5	▲ 8.4	▲ 11.1	3.6	▲ 8.3	▲ 16.7
販売客数	▲ 44.0	▲ 54.1	▲ 30.4	▲ 36.4	▲ 26.1	▲ 26.1	▲ 29.7	▲ 53.9	▲ 20.8	▲ 18.5	▲ 10.8	▲ 4.1	▲ 20.8
販売客単価	▲ 12.0	▲ 37.5	▲ 21.7	▲ 31.9	▲ 4.3	▲ 21.7	▲ 3.7	▲ 7.7	▲ 8.3	▲ 14.8	▲ 10.7	▲ 8.4	▲ 29.2
営業利益	▲ 32.0	▲ 62.5	▲ 43.5	▲ 36.3	▲ 8.7	▲ 17.4	▲ 18.5	▲ 46.2	▲ 25.0	▲ 22.2	0.0	▲ 12.5	▲ 25.0
見通し	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 17.4	0.0	▲ 8.7	▲ 8.7	▲ 18.5	▲ 3.8	0.0	7.4	▲ 14.3	▲ 20.8	▲ 8.3

<経営者の目・見方・etc>

陶磁器

- ・路線価の下落には納得がいくが国の税収が過去最高だという。消費税率が上がったからだけではなく、所得税や法人税も前年を超えたに耳にした。外食（接待）も旅行（出張）も自粛して出費（経費）が大幅に減少した結果、利益、納税額も積みあがったということではないかと予想している。対面型の商売をしていると売上が蒸発した分野も多々あって苦境が続いているが、そうでない企業が大多数ということか。

印章

- ・東京で例年は秋口に開催される展示会の開催日程が週末を外して平日限定となった。ゴム印工場から土、日に加えて月曜日にも休むと通知が来た。また納期が遅くなってしまう。

印章・刃物研ぎ

- ・少しずつではあるが、観光客の姿を見かけるようになってきた。

住宅機器

- ・ウッドショックで予定現場が遅れている。

燃料

- ・オリンピックに伴い新型コロナウイルス感染者が増加するのではないかと危惧している。

化粧品

- ・気楽に街を歩きショッピングを楽しもうという雰囲気は感じられない。街中の人通りも極めて少なく感じる。

洋菓子店

- ・コロナ禍でも好調と言われていた菓子業界だが、ここに来て全体的に低調気味になっていると聞いている。今年の夏季休暇は多くの方が旅行を予定しているとのことで、その影響で嗜好品への消費が抑えられている可能性があるかと予想している。

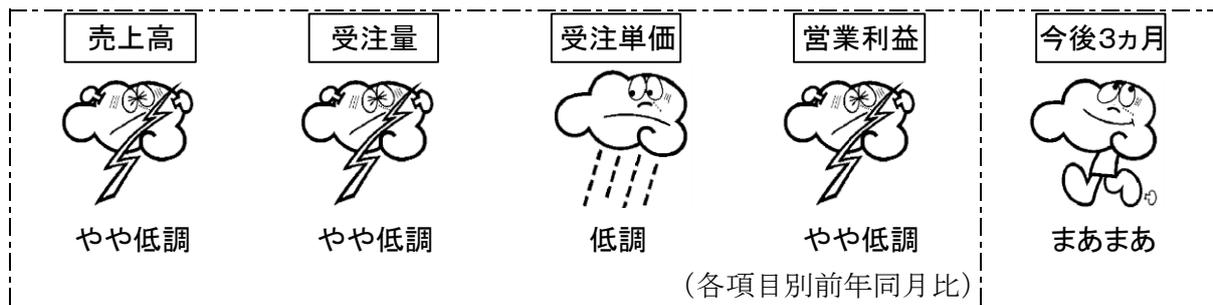
生鮮食品

- ・6月は父の日があり去年は、10万円の給付金に伴う売上と思っていたが今年も多かった。父親への感謝の気持ちで購入していく人が多いのではないかとと思う。

薬局

- ・人が出ていないように感じる。日曜日休みなので日曜日の状況はわからないが、平日は人がほとんど来ない。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	R2年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 88.2	▲ 58.8	▲ 68.7	▲ 87.5	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 57.9	▲ 18.7	▲ 31.3	▲ 10.0
販売客数	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 94.1	▲ 70.6	▲ 68.7	▲ 93.8	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 52.6	▲ 18.7	▲ 37.5	▲ 5.0
販売客単価	▲ 66.7	▲ 61.5	▲ 64.7	▲ 47.0	▲ 52.9	▲ 56.3	▲ 75.0	▲ 66.7	▲ 81.2	▲ 31.6	▲ 37.5	▲ 56.2	▲ 20.0
営業利益	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 94.1	▲ 70.6	▲ 81.3	▲ 87.5	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 52.6	▲ 25.0	▲ 43.7	▲ 15.0
見通し	▲ 26.6	▲ 23.1	▲ 41.2	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 22.2	▲ 18.8	▲ 15.8	▲ 6.3	0.0	5.0

<経営者の目・見方・etc>

郷土料理

- ・高齢者の新型コロナウイルス感染症の予防接種が進み、高齢層の来客が増えているように感じる。子連れのお客も増えてきており少し解放されてきているようだ。客数が増えるのは嬉しいが、新型コロナウイルス感染者が増えだすと非常に困る。

食堂

- ・コロナ禍以前のように景気は良くならない。このまましばらく続くと予想している。
- ・松本市内で新型コロナウイルス感染者が毎日のように何人も出たので人出も遠のき、売上減になった。早くワクチン接種が進むように祈るばかりだ。
- ・6月は本当にお客様が少ない日が多かった。緊急事態宣言が解除された後、また新型コロナウイルス感染者が増加しつつあり、第5波への不安しかない。

そば

- ・ワクチン接種の話聞くようになってきたが一番活発に動く20代や30代への接種にはまだまだ時間がかかりそう。更に次から次へと新型コロナウイルス変異株が広まっており、しばらくは厳しい状況であると予想する。

寿司

- ・徐々にお客様の動きが出てきた。今後も必要な対策をしながら、まずはお越しいただいたお客様に対してきちんとした対応を心がけたい。
- ・状況は相変わらず厳しい。お客様の来店する曜日にムラがある。ワクチン接種が多くなると少しでも多くの方が安心して出回ると思っている。今はそれに期待するしかない。
- ・ワクチン接種がかなり加速してきた。しかしまだまだ油断はできない。県外を往来した人に新型コロナウイルス感染者が多く見られるので県外からのお客には十分注意したい。相変わらず夜のお客が少ない。

料理

- ・この6月は今までに経験したことのないほどお客様が来店されず身の引き締まる思いだった。

中華料理

- ・歌舞伎が盛大に行われ、街にもにぎわいが出できた。やはり松本の街はOMF、クラフトビールフェスティバルin松本、信州・松本そば祭り、松本ぼんぼんなどお祭りが似合う街である。新型コロナウイルス感染症が早く収束し多くの祭りができる日が戻ってくることを祈っている。

居酒屋

- ・松本ぼんぼんが中止になり商店街の人のモチベーションが下がってしまったと思う。オリンピック等の開催が決まったが不安があるとの声が多い。ワクチンを打てる状況になれば明るい兆しはあると思う。

洋風居酒屋

- ・ワクチン接種が進んでも人の動きは以前と変化がない。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R2年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 65.9	▲ 44.2	▲ 46.7	▲ 44.1	▲ 17.4	▲ 20.5	▲ 39.6	▲ 51.3	▲ 43.2	▲ 2.4	9.7	13.6	0.0
販売客数	▲ 63.4	▲ 46.5	▲ 44.5	▲ 41.9	▲ 19.6	▲ 18.1	▲ 34.9	▲ 56.1	▲ 43.2	▲ 11.9	9.8	2.3	0.0
販売客単価	▲ 39.1	▲ 25.6	▲ 20.0	▲ 20.9	▲ 8.7	▲ 6.8	▲ 14.0	▲ 24.4	▲ 27.2	▲ 2.4	7.3	▲ 9.1	▲ 4.8
営業利益	▲ 63.5	▲ 41.9	▲ 46.7	▲ 46.5	▲ 21.8	▲ 15.9	▲ 41.8	▲ 53.7	▲ 40.9	▲ 14.3	2.4	▲ 4.5	▲ 9.5
見通し	▲ 9.7	▲ 11.6	▲ 13.4	▲ 4.6	▲ 6.5	▲ 16.0	▲ 23.3	▲ 12.2	4.5	▲ 2.3	▲ 17.1	▲ 2.3	14.2

<経営者の目・見方・etc>

温泉旅館

- ・6月の後半～緊急事態宣言の解除に伴い客数が増加してきた。これからワクチン接種率が上がるにつれてより客数が増加していくと考えている。夏以降のトップシーズンの集客に今年は期待している。

- ・当初は予約も例年通りであったが日を追うごとに全てキャンセルされてしまっている。今までにない6月であった。

観光旅館

- ・昨年の6月は閉業したが、今年は前半で営業できたので売上が上がったが、後半から休業した。首都圏の緊急事態宣言は、まん延防止等重点措置に変わったものの、新型コロナウイルス感染症の変異株が猛威をふるっているためワクチン接種の促進のみが頼りである。今のところ夏の予約は順調だが再び東京に緊急事態宣言が出てしまい不安である。

旅館

- ・減少傾向にあった首都圏の新型コロナウイルス感染者がまた増加に転じている。オリンピックも無観客を想定せざるをえない状況なら回復傾向も鈍化してしまうと考えている。

- ・一日も早い新型コロナウイルス感染症の収束を願っている。

ホテル

- ・県民支えあい信州割SPECIALが始まっており期待している。

宿泊	・6月も新型コロナウイルス感染者の影響を大きく受け宿泊、喫茶利用ともに芳しくなかった。また雨による交通状況の悪化の影響も受けた。
不動産賃貸	・変動なし。
ペットサービス	・来店数、売上高共に前年を上回った。松本市の新型コロナウイルス新規感染者も減り、ホテルも少しずつ動き始めた。ここで気を緩めず感染対策を徹底して7月も社員一丸となって取り組んでいこうと考えている。
獣医	・日本ペットフード協会の2020年の調査によると新たに飼育された犬猫は前年より約15%増えたといわれている。コロナ禍の生活環境も少なからず影響していると思われる。業績自体は例年と変わらない。
写真	・学校関連の行事、イベント、婚礼など形を変えながら行っている。新型コロナウイルス感染対策をしながら様々な工夫がされている。以前のようにとはいえないが撮影の依頼も昨年に比べて増えてきている。
建築設計・工事監理 測量・建設コンサルタント業	・松本市からの業務発注が久しぶりにあった。 ・長野県測量設計業協会で、昨年は中止にした災害講習会を行った。新型コロナウイルス感染症対策をしながらの準備は非常に大変だった。しかし、長野県内でも災害が増えてきていることもあり、有意義な講習会になったと思われる。
機械設計 自動車整備・板金塗装	・部品の一部が非常に入手しにくくなっている。 ・前年より5月～6月にかけて仕事量が少なくなっている。新型コロナウイルス感染症の影響があるのかはわからないが人の動きは元に戻っていないのかもしれない。梅雨が早く明けて、景気も盛り上がりて欲しいと感じている。
タクシー	・前年とほぼ同じ状況が続き、新型コロナウイルス感染症の影響が収まらずなかなか良くならない。県民応援前売割や信州割SPECIALの観光クーポンの利用客が少しずつ増えてきている。
教育業 ソフトウェア	・まだまだコロナ禍であり、動きはあまりないように思える。 ・以前のような新型コロナウイルス感染症の影響は少なくなった。コミュニケーションや成果物などの管理などを見直すことにより、実質の生産性は向上したように感じる。お客様のIT化に対する投資も特に冷え込んだようには感じない。